

令和8管理年度の漁獲可能量(TAC)の配分総括表(令和8年6月時点)

特定水産資源	TAC(トン)	大臣管理		
		特定水産資源	大臣管理区分	数量(トン)
さんま	95,623	さんま	北太平洋さんま漁業 (漁獲割当てによる管理を行う管理区分)	77,940
			北太平洋さんま漁業 (総量による管理を行う管理区分)	8,160
まあじ	183,200	まあじ	大中型まき網漁業	65,000
まいわし太平洋系群	661,000	まいわし太平洋系群	大中型まき網漁業 (漁獲割当てによる管理を行う管理区分)	208,300
			大中型まき網漁業 (総量による管理を行う管理区分)	199,300
まいわし対馬暖流系群	453,000	まいわし対馬暖流系群	大中型まき網漁業	60,200
かたくちいわし太平洋系群	107,000	かたくちいわし太平洋系群	大中型まき網漁業	107,000トンの内数
かたくちいわし対馬暖流系群	15,000	かたくちいわし対馬暖流系群	大中型まき網漁業	15,000トンの内数
うるめいわし対馬暖流系群	58,000	うるめいわし対馬暖流系群	大中型まき網漁業	58,000トンの内数
まだい日本海西部・東シナ海系群	6,730	まだい日本海西部・東シナ海系群	大中型まき網漁業	6,730トンの内数
			沖合底びき網漁業及び以西底びき網漁業	6,730トンの内数
すけとうだら太平洋系群	158,000	すけとうだら太平洋系群	沖合底びき網漁業	91,300
すけとうだら日本海北部系群	26,000	すけとうだら日本海北部系群	沖合底びき網漁業	17,500
すけとうだらオホーツク海南部	60,000	すけとうだらオホーツク海南部	沖合底びき網漁業	59,900
すけとうだら根室海峡	15,000			
するめいか	68,400	するめいか	沖合底びき網漁業	17,300
			大中型まき網漁業	2,300
			大臣許可いか釣り漁業	3,000
			小型するめいか釣り漁業 (4月から同年11月まで)	13,600
			小型するめいか釣り漁業 (12月から翌年3月まで)	1,400
かたくちいわし瀬戸内海系群	44,000			
ぶり	97,000	ぶり	大中型まき網漁業	試行水準

【注記】

- くろまぐろの漁獲可能量は、別途公表する。
- 留保枠
 - さんま:5,062トン
 - まあじ:36,600トン
 - まいわし太平洋系群:126,200トン
 - まいわし対馬暖流系群:26,000トン
- するめいか:7,400トン(うち7,200トンは、大臣許可いか釣り漁業の算出配分量からの繰り入れ)

都道府県知事管理

(単位:トン)

都道府県	さんま	まあじ	まいわし		かたくちいわし	かたくちいわし	うるめいわし	まだい	すけとうだら				するめいか	かたくちいわし	ぶり
			太平洋系群	対馬暖流系群	太平洋系群	対馬暖流系群	対馬暖流系群	日本海西部・東シナ海系群	太平洋系群	日本海北部系群	林-ツノ海南部	根室海峡		瀬戸内海系群	
北海道	3,900	現行水準	21,000		107,000トンの内数				64,800	8,400	現行水準	15,000	6,600		試行水準
青森県		現行水準	現行水準		107,000トンの内数				現行水準				1,700		試行水準
岩手県	400	現行水準	12,000		107,000トンの内数				現行水準				1,100		試行水準
宮城県	現行水準	現行水準	32,500		107,000トンの内数				現行水準				600		試行水準
秋田県		現行水準		現行水準		15,000トンの内数	58,000トンの内数			現行水準			現行水準		試行水準
山形県		現行水準		現行水準						現行水準			現行水準		試行水準
福島県		現行水準	現行水準		107,000トンの内数								現行水準		試行水準
茨城県		現行水準	現行水準		107,000トンの内数				現行水準				現行水準		試行水準
千葉県	現行水準	現行水準	現行水準		107,000トンの内数								現行水準		試行水準
東京都		現行水準													試行水準
神奈川県		現行水準	現行水準		107,000トンの内数								現行水準		試行水準
新潟県		現行水準		現行水準		15,000トンの内数	58,000トンの内数			現行水準			現行水準		試行水準
富山県		現行水準		現行水準		15,000トンの内数	58,000トンの内数						3,800		試行水準
石川県	現行水準	現行水準		83,500		15,000トンの内数	58,000トンの内数						現行水準		試行水準
福井県		現行水準		現行水準		15,000トンの内数	58,000トンの内数						現行水準		試行水準
静岡県	現行水準	現行水準	現行水準		107,000トンの内数								現行水準		試行水準
愛知県		現行水準	現行水準		107,000トンの内数								現行水準		試行水準
三重県	現行水準	現行水準	10,800		107,000トンの内数								現行水準		試行水準
京都府	現行水準	現行水準		現行水準		15,000トンの内数	58,000トンの内数						現行水準		試行水準
大阪府		現行水準	現行水準											44,000トンの内数	試行水準
兵庫県		現行水準		現行水準		15,000トンの内数	58,000トンの内数						現行水準	44,000トンの内数	試行水準
和歌山県	現行水準	現行水準	現行水準		107,000トンの内数								現行水準	44,000トンの内数	試行水準
鳥取県		現行水準				15,000トンの内数		6,730トンの内数					現行水準		試行水準
島根県		17,100		161,000		15,000トンの内数	58,000トンの内数	6,730トンの内数					現行水準		試行水準
岡山県		現行水準												44,000トンの内数	試行水準
広島県		現行水準	現行水準											44,000トンの内数	試行水準
山口県	現行水準	3,000		現行水準		15,000トンの内数	58,000トンの内数	6,730トンの内数					現行水準	44,000トンの内数	試行水準
徳島県		現行水準	現行水準		107,000トンの内数								現行水準	44,000トンの内数	試行水準
香川県		現行水準	現行水準											44,000トンの内数	試行水準
愛媛県		現行水準	現行水準		107,000トンの内数								現行水準	44,000トンの内数	試行水準
高知県	現行水準	現行水準	現行水準		107,000トンの内数								現行水準		試行水準
福岡県		現行水準		現行水準		15,000トンの内数	58,000トンの内数	6,730トンの内数					現行水準	44,000トンの内数	試行水準
佐賀県	現行水準	現行水準		現行水準		15,000トンの内数	58,000トンの内数	6,730トンの内数					現行水準		試行水準
長崎県	現行水準	26,800		70,000		15,000トンの内数	58,000トンの内数	6,730トンの内数					3,100		試行水準
熊本県		現行水準		現行水準		15,000トンの内数	58,000トンの内数	6,730トンの内数					現行水準		試行水準
大分県		現行水準	現行水準		107,000トンの内数								現行水準	44,000トンの内数	試行水準
宮崎県		4,200	15,300		107,000トンの内数								現行水準		試行水準
鹿児島県		3,600		15,000		15,000トンの内数	58,000トンの内数	6,730トンの内数					現行水準		試行水準
沖縄県															

年月日	特定水産資源	変更理由	変更内容			
			管理区分	変更前数量	変更後数量	増減
令和8年1月23日	まいわし対馬暖流系群	国の留保からの追加配分 (関係者間合意)	長崎県	33,400	70,000	36,600
			鹿児島県	5,000	15,000	10,000
			大中小型まき網漁業	42,200	60,200	18,000
			国の留保	90,600	26,000	-64,600
令和8年6月3日	まいわし太平洋系群	国の留保からの追加配分 (75%ルール)	宮崎県	9,300	15,300	6,000
			国の留保	132,200	126,200	-6,000